

浜松医科大学事務職員の 業務内容について



国立大学法人
浜 松 医 科 大 学

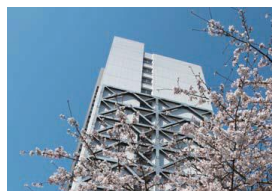
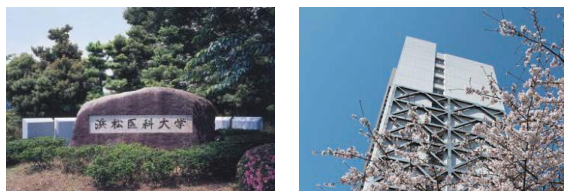


建学の理念

第1に優れた臨床医と独創力に富む研究者を養成し、
第2に独創的研究並びに新しい医療技術の開発を推進し、
第3に患者第一主義の診療を実践して地域医療の中核的役割を果たし、
以て人類の健康と福祉に貢献する。

- 静岡県西部地方に位置する医科系単科大学（1学部2学科）
- 昭和49年、国の一県一医大構想に基づいて開学

沿革



昭和49年	浜松医科大学 設置
昭和52年	医学部附属病院 設置
昭和55年	大学院博士課程 設置
平成 7年	医学部看護学科 設置
平成11年	大学院修士課程 設置
平成16年	国立大学法人浜松医科大学 設置
平成26年	開学40周年
平成30年	大学院博士後期課程（光医工学共同専攻）設置

データで知る浜医

2020年5月現在

学生数

全体：**1,216**名

(医学科) (看護学科)
医学部：**716**名 **258**名

(博士課程) (博士後期) (修士課程)
大学院：**185**名 **9**名 **48**名

職員数

全体：**1,460**名

役員：**7**名

教員：**377**名

事務等：**1,076**名

事務等のうち 事務職員

(**157**名)

事務職員の男女比

男性**68.6%**

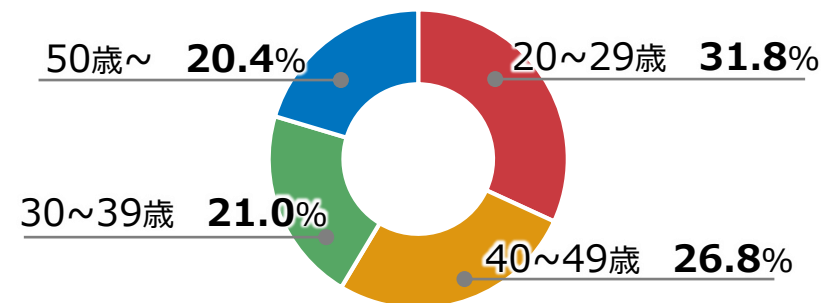


女性**31.4%**



事務職員の年齢構成

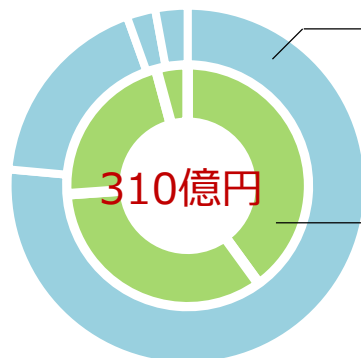
平均 **38.2**歳



	男性	女性	計
20～29歳	30	20	50
30～39歳	24	9	33
40～49歳	29	13	42
50歳～	25	7	32

データで知る浜医

予算
(令和2年度)



収入

病院収入：237億（76%） 運営費交付金：56億（18%）
授業料等：8億（3%） その他：9億（3%）

支出

人件費：124億（40%） 診療経費：105億（34%）
物件費：68億（22%） 債務償還：13億（4%）

本学：344億円（うち運営費交付金58億円）

決算
(平成30年度)

【参考】

同規模A大学：329億円（うち運営費交付金50億円）

同規模B大学：325億円（うち運営費交付金60億円）



教 育

医療人の養成

豊かな**人間性**を身に付けた医療人の養成



研 究

光医学

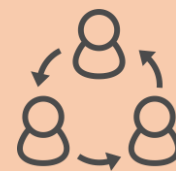
光を用いた最先端医療研究の推進と人材育成



診 療

地域医療

安全で良質な医療の提供



地域貢献

産学官連携等

地域に**愛**される大学へ



教育研究機能等のさらなる強化のため、学内は建設ラッシュ!!

持続的な成長に繋げ、人材育成や学術研究の発展を通じ、社会に貢献。

スマートライブラリー構想に基づく図書館改修



職員宿舎、留学生・研修医宿舎の整備

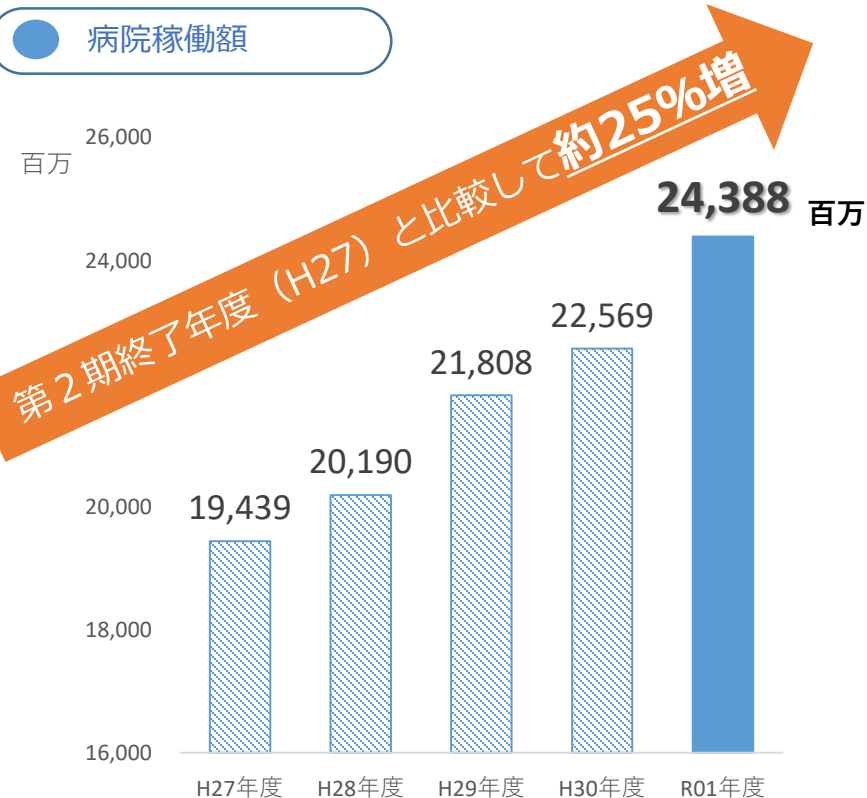


コンビニ、薬局等の複合施設整備



産学官連携の新拠点の整備

附属病院は、地域の高度急性期病院として良質な医療を提供等することで地域医療に貢献



医療機能強化棟の建設



放射線治療 機能

周産母子 機能

手術室 機能

外来化学療法 機能

入退院支援 機能

- 手術件数増加、西部医療圏地域の周産期、リニアック設備更新等に対応
- 令和3年度の竣工に向けて、医療設備や人員増を計画的に実施中

静岡大学との大学再編・法人統合について



国立大学法人静岡国立大学機構（仮）

静岡地区大学

静岡大学
静岡キャンパス
(4学部)

浜松地区大学

浜松医科大学
(1学部)

静岡大学
浜松キャンパス
(2学部)

- 両法人を統合し、新法人を設立「**国立大学法人静岡国立大学機構（仮称）**」
- 静岡地区、浜松地区の2大学へ再編

2022年4月 大学再編・新法人設立及び学生受入れを予定



これら教育・研究・診療活動等が円滑に、そして最大限に発揮できるよう、マネジメントや教育研究支援など様々な分野で活躍しているのが**私たち国立大学職員**です。



事務局目標

1. 「国立大学法人静岡国立大学機構（仮称）」の設立及び大学再編に関する合意書、確認書を踏まえ、遅くとも2022年4月新法人・新大学発足に向けて業務を遂行する。
2. 目標や課題を迅速に達成することができるよう、また組織としての機能が最大限発揮できるよう、報告・連絡・相談を徹底する。
3. 過去の前例や慣習にとらわれず、新たな発想のもと、常に改革の意識を持ち事務の簡素化を図りつつ、超過勤務の縮減に最大限努める。

求める事務職員人物像

1. 自分から進んで、主体的に考えることができる方

過去の前例や習慣にとらわれず、新しい発想のもとに、常に改革や問題の意識を持って、自分から進んで考えて、物事にあたることができる方

2. 自分から主体的に、積極的に行動ができる方

目標や課題を的確に把握して、達成に向けて、自分から主体的に、積極的に発案、行動することができる方

3. 自分からコミュニケーションを円滑に図ることができる方

職種、職制、職域など、お互い立場の違いを理解して、意思疎通を図り、業務を円滑に遂行できる方

事務局長

監査室

事務局次長（総務・教育）

事務局次長（病院）

総務課

情報企画室、広報室

企画評価課

研究協力課

人事課

会計課

施設課

学務課

国際化推進室

入試課

学術情報課

医事課

卒後支援室

病院経営支援課

総務企画

組織全体の企画立案に関わり、円滑かつ効果的に業務を遂行できるよう運営及び調整を行います。

総務課

- 事務総括及び連絡調整
- 規則・規程等の制定等
- 広報活動
- 式典等の開催
- 法人文書の管理
- 情報公開

企画評価課

- 中期目標・中期計画
- 将来構想の企画立案
- 外部評価・自己点検評価
- I R (Institutional Research)

人事課

- 教職員の採用
- 給与、諸手当
- 人事制度の企画立案
- 研修の企画・実施

財務経営

組織運営に必要な財務上の計画や管理全般を担います。

会計課

- 決算及び財務諸表の作成
- 財務経営分析
- 予算の立案・要求・配分・管理
- 物品購入・機器保守等の契約

施設課

- 施設整備計画の企画立案
- 工事の設計・積算・入札
- 施設有効活用に関する計画
- 環境安全衛生管理

研究支援

研究の助成、産学官連携の推進など学術研究を支えます。

研究協力課

- 競争的資金の申請等
- 知的財産の管理活用
- 研究推進・産学連携の企画立案
- 共同研究等の手続

学生支援

学生の入学から卒業まで、学業・生活面でのサポートを行います。

学務課

- 学生相談、生活指導
- 授業評価、教育方法改善
- カリキュラム編成
- 履修手続き及び修学指導

入試課

- 各種入学試験の実施
- 入試方法の改善
- 入試広報

学術情報

図書館資料や学術情報など利用者ニーズに応え、サービスを提供します。

学術情報課

- 図書貸出、閲覧、管理
- 電子ジャーナル管理
- 機関リポジトリの運用
- 学術情報の収集調査

診療支援事務

医療スタッフと協力して良質な医療の提供のサポートや管理運営業務を行います。

医事課

- 附属病院の総務、広報
- 医療安全、医療相談
- 診療報酬請求
- 医療情報システムの管理運用

病院経営支援課

- 病院経営分析
- 病院予算管理
- 医薬品等の発注調達、入札執行

監査室

内部統制の仕組みの整備、法人としての自律的運営の確保等の充実を図るため、事務局から独立した学長直属の組織。

監査室

- 内部監査の企画立案
- 監事の支援
- 会計監査人との連絡調整
- 公益通報



勤務時間・ 休暇等

- 【1日】7時間45分（週38時間45分）
（例）8時30分～17時15分 ※部署により異なる場合があります。
- 年次休暇年20日付与、結婚、夏季、産前・産後休暇、育児休業など

給与・手当

- 初任給月額約180,000円～220,000円程度 ※職歴や学歴等により異なります。
- 諸手当（通勤手当、住居手当（家賃半額補助(上限28,000円)）、超過勤務手当等）

福利厚生

- 社会保険完備、宿舍・保育所あり、各種レクリエーション

人事交流・ 研修

- 他機関との人事交流、文部科学省での研修等を通じて、キャリアアップ支援
- 新規採用者研修等の階層別研修、TOEIC語学研修、各種専門に関する研修等

学内保育所「きらり」



病児・病後児保育所「ふわり」

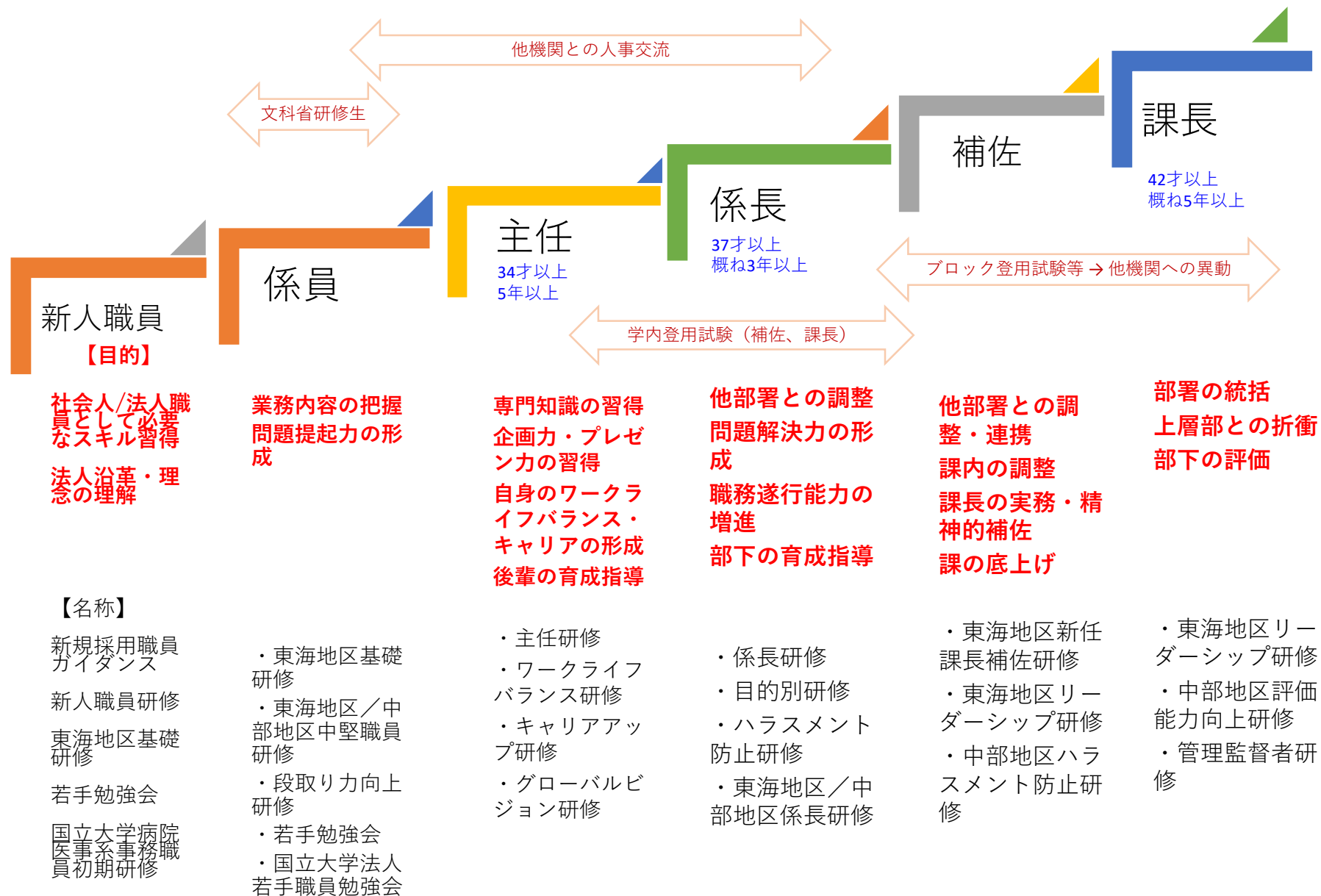


小さな子供がいる事務職員でも子供を預けながら仕事ができます。

産休・育休を経て職場復帰する職員にとって心強い味方です。

平成29年には、病児・病後児保育室「ふわり」も開設。

専任の看護師と保育士に加え、本学小児科医師との連携によって安全・安心な保育環境になっています。



他機関との人事交流や文部科学省での研修などを通じて若手職員のキャリアアップを支援



意欲ある皆さんの応募をお待ちしています！



(マスコットキャラクター はんだやまっぴー)